

街かど gallery



立花町白木  
田中 光子

私と水墨画との出会いは立花町働く婦人の家の講座です。どんな風に描くのか、見てみたいと思って参加しました。先生が笑顔で優しく指導して頂きました。難しいところだけ仲間の皆さんの話を聞いたり見せてもらったりして少しずつ描きました。月日が立つにつれ難さを知り、墨の濃淡、ぼかし、にじみ、運筆等に苦勞しています。なかなか上達は出来ませんが、先生や仲間の皆さんの指導を頂き感謝しています。現在いくつかの趣味はありますが、月二回の水墨画教室が楽しみです。未熟な私ですがこれから先生の指導を頂き頑張りたいと思っています。

矢部川源流・杣の里の四季 ②②  
ヤマホトトギス(山杜鵑草)[ユリ科]

名前の由来は花の斑点が、野鳥のホトトギスの胸の斑点に似ていることから「ホトトギス」の名になったと言われている。矢部村では釈迦岳登山道(車道)の明るい林縁で観察できる。花は6花被片からなり白色で内側に紅紫色の斑点がある。花被片が下側に向かって強く反っているのが特徴。花の中心から花柱が1cm



松尾 重根  
(黒木町)

放課後等児童デイサービス、児童発達ステーション「さら」が誕生しました。対象児童は就学後から18歳までです。発達障害の子、コミュニケーションや切り替えが苦手な子、知的障害の子、運動面に不器用さがある子などは得意、不得意の差が大きかったり、記憶力、視覚的能力に弱さがあり、学業につまずき、友達付き合いや集団行動においても自信をなくしていることがあります。又コミュニケーションが上手く取れなかったり、体育の授業で劣等感を持ったり、ダンスや演技などの動きが覚えられなかったりします。当施設では地域の関連施設とも連携をとりあい、一人ひとりの発達段階や特性に合わせた支援を心がけ、遊びや生活を通して苦手な部分を練習していきます。元は幼稚園の園舎ですから教室、プレイルーム、個別スペースも完備しています。学校へのお迎え、終わったら家への送迎も行ないます。見学ご希望の方は連絡お待ちしております。

児童発達ステーションさら  
施設長 宮田光則  
八女市本町2-85-1  
(元さかえ幼稚園)  
電話0943-24-9260



夏の夜空を彩る大輪の花火。ドーンと五臓六腑に響く大音響の迫力は、花火見物の醍醐味である。被災地の復興祈願と鎮魂の花火を今年は見られるだろうか。尺玉の夜空に咲かず  
被災地の復興祈願と鎮魂の花火を今年は見られるだろうか。尺玉の夜空に咲かず  
被災地の復興祈願と鎮魂の花火を今年は見られるだろうか。尺玉の夜空に咲かず



今月の山柳



黒木西小学校 二年  
まつもと ゆきな

おじいちゃんへ

おじいちゃん、いつもがっこうからかえるとおじいちゃんのおかづをたのしみにまつているよ。おじいちゃんがつくるよるのおかずはともおいししいよ。いつもいっぱいおかづをつくってくれてありがとうね。ずっとおじいちゃんいきてね。おじいちゃんいつもありがとう。

夫婦で演じる紙芝居

平 田

俊 興さん(70才)  
智代子さん(67才)  
広川町新代

へ紙芝居を思い立たれたきっかけは、

平成21年でした。「これから自分たちに出来ることを、出来る時に、出来るだけ」やれることは何かと考えた時思いついたのが紙芝居でした。絵を描くことは妻が50年以上八女提灯の絵描きをしていました。私も妻の手ほどきで見よう見真似で描いていましたから何の問題もありませんでした。この額も廃品利用で自分で作りしました。

へ紙芝居のストーリー作りはどのように?

まず本屋さんで民話、伝記などを探します。題材が決まればストーリーを二人で組み立てていきます。

てていきます。主に絵は私が描いて裏書きは妻が受け持ちます。ステージでは私が話し、妻が絵の入れ替えを手伝います。四年の間に60作品を作りました。継志堂で有名な江戸時代の教育者高山樗牛先生を題材にした「田舎つべ学者」、後征西將軍良成親王を物語にした「もの言わぬくつわ虫」、羽犬塚の伝説をもとにした「羽のはえた犬」など子どもからお年寄りまで楽しんでもらえる作品があります。これまでに八女市を中心に40ヶ所で開催してもらいました。毎回40人、50人、二〇〇人以上の会場もありました。最近ではほとんと石橋の館(上陽町)に出かけました。かわいい幼稚園児から「おじいちゃんまたきてね」と声をかけられたり、老人会で「よかったバイ」「面白かった」と喜んでもらうと



疲れなどふつとんで、こちらが元気をもらって帰ります。一会場場で二作品を30分程度で読み切ります。これからも八女地方の歴史や偉人伝などをテーマにした作品を作っていきたいと思っています。皆さんから声をかけて頂ければボランティアで出前して参りますのでよろしく願います。  
☎ 0943-32-3417

「農業クラブ」県大会報告

八女農業高等学校

福岡県内の農業を学ぶ高校生が参加して日頃の学習成果を競う、福岡県学校農業クラブ連盟の年次大会が開催されました。生徒は、大会の何ヶ月も前から勉強や練習を重ねて、優秀な成績を残すことができました。成績は、次の通りです。

- ・意見発表の部:最優秀(九州大会出場) 3年 野田 遵平
- ・プロジェクト発表の部:最優秀(九州大会出場) 3年 下川 吏永 他8名の研究チーム
- ・農業鑑定競技最優秀(全国大会出場) 4名

- 「農業部門」 3年 中島 康裕
- 「園芸部門」 3年 金子 竜市
- 「生活科学部門」 2年 角 穂奈美
- 「畜産部門」 3年 森本 愛梨

※「畜産部門」優秀賞  
(全国大会「家畜審査競技」出場)  
3年 古川加奈

この他にも意見発表2名、プロジェクト発表2チーム、鑑定競技6名が優秀賞を受賞しました。

九州大会は長崎県で、全国大会は関東各県で開催されます。最高の賞を目指して、さらに頑張ります。

(八女農みらい館 8月販売日程)

2日(金)、6日(火)、9日(金)、16(金)、20日(火)、23日(金)、27日(火)、30日(金)  
毎週火曜日と金曜日の2回定期的に販売しており、販売時間は、10時30分~12時30分です。

